

## 第28回司法シンポジウム報告

2018年9月29日（弁護士会館・東京）

「司法における国民的基盤の確立をめざして－司法を強くする4つの取組から考える－」

日時：2018年9月29日（土）10：30～17：30

場所：[霞ヶ関] 弁護士会館

法の支配の確立をテーマとした前回（第27回）の司法シンポジウムでは、その議論を通して、司法の独立を強化し、司法がその役割をよりよく果たすために「司法の国民的基盤」が重要であることが浮き彫りになりました。

本シンポジウム運営委員会は、前回の議論を受けて「司法の国民的基盤」をテーマに取り上げました。①裁判所の多様性や開放性を高めてその役割をよりよく発揮させるための取組、②弁護士を含む司法と市民との距離を縮める取組によって、市民の司法に対する理解と信頼を高め、もって「司法の国民的基盤」を強化するべきという視点から、4つの具体的取組を取り上げて実践的な議論を深めることとしました。

また、前回と同様、弁護士や法曹関係にとどまらず、幅広い人に理解を深めていただくことを目的に、分科会形式ではなく第1部・第2部ともに同一会場で連続して開催しました。さらに、各地の弁護士会館とテレビ会議中継を行い、遠隔地での参加を可能とすると同時に、4つの具体的取組のうち2つの取組で映像を作成し上映しました。

その結果、当日は、弁護士会員のほか、高校生や法科大学院生等の一般の方を含めて約370名（テレビ会議を含む）の参加がありました。



### ■はじめに 「なぜ、いま『司法における国民的基盤』を取り上げるのか」

[進行：曾場尾雅宏事務局次長、寺林智栄事務局次長]

前回の司法シンポジウムでの議論の概要や「司法の国民的基盤」を強化することの意義や視点について、総合司会が対話形式で報告し、その後の進行につなげました。

### ■第1部 「具体的な取組から考える～市民と司法がつながる取組～」

第1部では、4つの具体的な取組を取り上げ、運営委員会での調査、検討の結果について映像を交えて報告し、様々な登壇者による討論も行いました。

#### ① 弁護士任官を進める

[進行：濱田広道事務局次長]

基調報告（河野匡志事務局次長）、任官推進DVD「私も任官しました！」の上映、弁護士任官をテーマとした掛け合い（中村元弥事務局次長・湯川二郎委員）とこれらに関するコメント

(水野邦夫委員)により、弁護士任官の意義と現状を確認し、任官支援事務所などの環境整備を含めて、日弁連として弁護士任官を推進していくことの重要性を明らかにしました。

## ② 司法参加を広げる(裁判員の経験)

[進行：森岡かおり事務局次長]

裁判員制度開始から9年が過ぎ、裁判員(補充裁判員を含む)経験者が全国で約8万人に達している現状を踏まえて、裁判員経験者と実践的取組を続ける研究者により、裁判員経験者の経験を社会が共有することの重要性や、守秘義務を初めとする課題について議論しました。

【登壇者】

- ・高橋 博信氏(裁判員経験者)
- ・小野 麻由美氏(裁判員経験者)
- ・飯 考行氏(専修大学法学部教授)

## ③ 法教育に取り組む

[進行：船岡浩事務局次長]

基調報告(野坂佳生・日弁連市民のための法教育委員会委員長)、高校生模擬裁判選手権DVDの上映、同選手権経験者3人の経験談により、法教育の可能性と全国的な取組強化の重要性を明らかにしました。

【登壇者】(司会：馬場基尚委員)

- ・青木 佑馬氏(弁護士)
- ・石川 夏子氏(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻博士課程)
- ・谷嶋 弘修氏(内閣官房副長官補付主査)

## ④ 市民と司法をつなぐ(市民・メディア)

[進行：齋藤泰史副委員長、田村智明委員]

市民側の取組(弘前大学での司法を題材とした教育プログラム)、マスメディアの役割という2つの柱を立てて、法律家が様々な組織・個人と接点を作って信頼関係を築くことの重要性を含めて、市民と司法の距離を縮める取組の在り方について議論しました。

【登壇者】

- ・平野 潔氏(弘前大学人文社会科学部教授)
- ・水無 保乃香氏(弘前大学学生)
- ・川名 壮志氏(毎日新聞社編集編成局社会部記者)

## ■第2部 パネルディスカッション「市民が支える司法をめざして」

[進行：赤羽宏事務局次長、宮腰直子事務局次長]

第1部をふまえたパネルディスカッションでは、今の時代において三権の一翼を担う司法の役割の重要性とそのため国民的基盤の強化の必要性を再確認し、そのための方策などを議論しました。司法の可視化・透明化という観点から裁判官が組織外に足場を持つことの重要性、法廷のテレビ中継など様々な方法による裁判所の情報発信、裁判員経験を社会に広げる観点から守秘義務に関する検討を深めることなど、様々な提言もありました。



**【登壇者】**

- ・ 曾我部 真裕氏（京都大学大学院法学研究科教授）
- ・ 宮川 光治氏（弁護士／元最高裁判所判事）
- ・ 豊 秀一氏（朝日新聞編集委員）

**■まとめ**

最後に、中村隆委員長が一日にわたるシンポジウムの成果をまとめ、関係者への謝辞を述べて閉会しました。